

もっと ニュース

船木東れんげ祭りでの世代間交流



ニジマスのつかみどりを楽しむ子どもたち

4月20日、薩摩中央家畜市場近くのレンゲ畑で、船木東集落協定による第4回船木東レンゲ祭りが行われました。レンゲ畑を眺めながら、餅つきやニジマスのつかみどりなどを楽しみ、子どもからお年寄りまで交流を深めました。

白男川温泉まつりで体も心もポッカポカ



親子で楽しむニジマス釣り大会

4月27日、白男川温泉付き活性化センター紫陽館で、白男川温泉まつりが行われました。当日は、白男川小学校の児童などによる和太鼓演奏やニジマス釣り大会のほか、温泉も無料で開放され、子どもからお年寄りまで楽しい一日を過ごしました。

14年目の交通安全街頭ピーアール運動



運転手に交通安全を呼び掛ける拳士たち

4月6日、少林寺拳法鹿児島宮之城支部の拳士ら30人が、国道328号線沿い船木青果市場前で、警察の協力をもらいながら、餅とチラシを配り交通安全を呼び掛けました。

川薩春季畜産共進会  
東英二郎さん若雌1部で1席



若雌1部で1席に輝いたふみ号と東英二郎さん

5月9日、薩摩中央家畜市場で、平成20年度川薩春季畜産共進会が開催されました。本町からは37頭が出品し、

- 最優秀賞2席 中村勝哉(くにたかの2号)
- 若雌3部 最優秀賞2席 久留三郎(ひろゆり号)
- 最優秀賞3席 徳重真生(まりの3号)

各所で審査が行われ、平川在住の東英二郎さんが若雌1部で1席に輝くなど日頃の成果を發揮されました。上位入賞者は、次のとおりです。(敬称略)



国旗を掲揚した昭和13年盈進小入学の会

雨乞石山頂で国旗掲揚  
昭和13年盈進小入学の会

4月29日の昭和の日、昭和13年に盈進小学校に入学した同級生でつくる「昭和13年盈進小入学の会」の17人が、宮之城屋地市街地の東側にあ

る弥三郎連峰北端一角の山頂にある雨乞ヶ石近くの掲揚台に国旗を掲げました。掲揚台は老朽化が進んでいたため、会のメンバーが寄付を集め再建されました。掲揚台は昭和15年皇紀2600年を記念して、鉄筋コンクリートで建造されました。当時は盈進小学校健児団(ボーイスカウト)が祝祭日に国旗を揚げたり、野営訓練をしたりしていたそうです。戦後、雨乞ヶ石での掲揚は途絶えていましたが、これまでは帝釈天公園で掲揚が引き継がれてきました。当日は、帝釈天公園と雨乞ヶ石で国旗が風になびいていました。



もっと ニュース

南極の氷届いたよ 柵野小学校



南極の氷に触れて喜ぶ子どもたち

4月28日、柵野小学校に南極観測船「しらせ」が持ち帰った南極の氷が届けられました。氷は25cm四方、高さ35cmの2~4万年前の氷山から採取されたもので、子どもたちは、手で触れたり、氷に閉じこめられた空気の泡がプチプチとはじける音を楽しみました。贈り主は、鮫島恵子校長先生の親類で、南極観測船「しらせ」の元艦長帖佐正和さん(山崎出身)です。前野優香さん(2年生)は「氷からプチプチと音が聞こえてびっくりした。かき氷にして食べてみたい」と話しました。

鶴田地区戦没者慰霊祭



鶴田地区戦没者慰霊祭の様子

4月25日、鶴田慰霊塔において、さつま町鶴田遺族会(軸屋昭人会長・会員188人)の主催による平成20年度鶴田地区戦没者慰霊祭が行われました。当日は、3年ぶりの好天に恵まれ55人の参加がありました。軸屋会長は「戦後62年を経過し遺族の高齢化も進行している。ボランティアで樹木の剪定や草刈り作業をしてくれる団体もあり感謝している。いつまでも慰霊塔の清掃は続け、慰霊の気持ちを継承していきたい」と話されました。遺族会では慰霊祭に先立ち4月20日に慰霊塔周辺の清掃作業を行いました。

今日は一日楽しかったね  
第3回さつま町春まつり



南高梅の種飛ばしに挑戦する子どもたち

5月3日、県立北薩広域公園で、第3回さつま町春まつりが開催されました。晴天にも恵まれ、訪れた多くの家族連れが、竹細工

体験やキャラクターショーなどを楽しみました。ちびっこうなぎつかみどり大会では、子どもたちの大きな歓声が響いていました。また、ステージショーでは、みやんじょ五ツ太鼓共演会や薩摩中央高校ダンス部によるダンスの披露、ちびっこ股旅舞踊も行われました。

輝け文化の祭典inさつま  
第3回さつま町文化祭



日頃の練習の成果を披露した芸能発表

5月17日から18日の両日にかけて、薩摩農村環境改善センターと体育館で、第3回さつま町文化祭が開催されました。

展示部門は、18団体から絵画・短歌・俳句・写真・水墨画・生け花・盆栽・装道着付けなど、年々レベルの高さを感じさせる素晴らしい作品約200点が展示されました。芸能部門は、正調五ツ太鼓宗家小牟田流による「YOSAKOI祭り唄」で開幕し、27団体による舞踊・五ツ太鼓・和太鼓・ハーモニカ演奏・ダンス・詩吟・コーラス・民謡・三味線など、日頃の練習の成果を発表しました。また、会員が主体となつて、準備から後片づけ、当日の運営や施設の清掃などに取り組み、さつま町文化協会の一体感を感じる、有意義な文化祭となりました。